

新村拓 著

# 北里柴三郎と感染症の時代

ハンセン病、ペスト、インフルエンザを中心に

四六判上製・304頁予定

定価 3,520 円 (本体 3,200 円+税)

ISBN978-4-588-31216-8



7月3日から、北里柴三郎肖像画の  
新千円札が発行されます！

細菌学や衛生学の分野で偉大な功績を残し、近代日本医学の父として知られる北里柴三郎。慢性伝染病であるハンセン病と結核、急性伝染病であるペストとインフルエンザ、そしてコレラやジフテリアなどに対し、北里および研究所員らはいかに向き合い、新たな知を発見しようと努めたか。現代の公衆衛生、コロナ・ワクチン、ハンセン病訴訟等と絡めて、そのプロセスを追いかけた、日本医療社会史の到達点。

❖ 目次

- 第一章 北里柴三郎に訓導された田尻寅雄の癩病治療
- 第二章 慰廃園と回春病院を支援した北里柴三郎
- 第三章 癩対策の世界的潮流から離れる日本
- 第四章 急性伝染病ペストと衛生
- 第五章 インフルエンザをめぐる北研と伝研の確執
- 第六章 学用患者と済生会
- 付 論 温泉養生の経済効果と衛生

◇ 著者プロフィール

新村拓 (しんむら・たく)

北里大学名誉教授。日本医療社会史の第一人者。著書に『近代日本の医療と患者』(2016年)、『売薬と受診の社会史』(2018年)、『医療と戦時下の暮らし』(2022年、以上いずれも法政大学出版局)など。

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3 法政大学出版局

FAX: 03-5214-5542

TEL: 03-5214-5540

## 北里柴三郎と感染症の時代

新村拓 著  
四六判上製・304頁予定/定価 3,520 円 (本体 3,200 円+税)  
ISBN978-4-588-31216-8 C1021

ご芳名

ご連絡先

帖合・番線

部